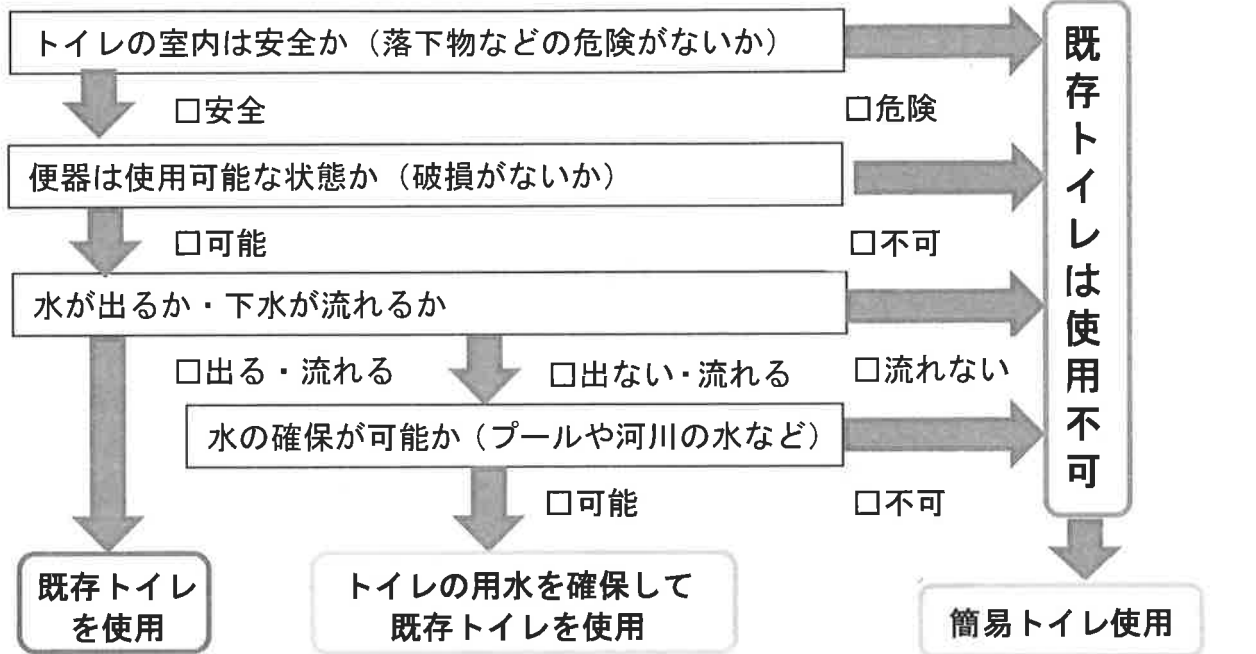


災害時トイレ対応

既存トイレの確認

既存トイレは排水先の状況把握が済んでから使用する



既存トイレを使用



トイレの用水を確保して 既存トイレを使用

- ① プール等より水を運搬する (バケツ等に避難者で協力)
- ② バケツ等に水を溜める
- ③ 洗面器やボールで汲んで流す
- ☆ ペーパーは便器に流さずゴミ袋を用意し捨てる
- 定期的なトイレ清掃

簡易トイレ使用



・携帯トイレや簡易トイレ使用



段ボール
新聞紙
レジ袋
テープなど

・段ボールトイレ(即席便器)作成

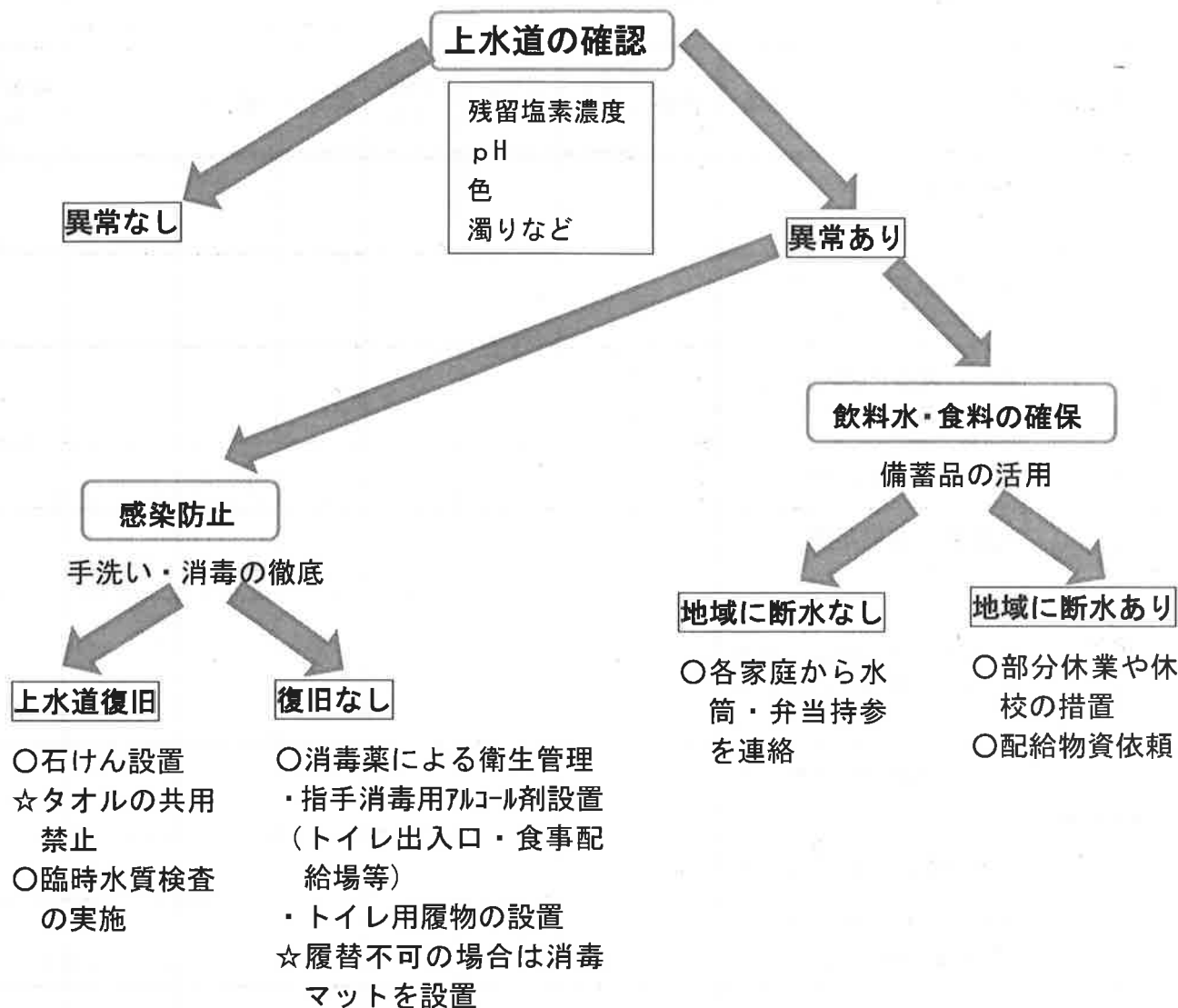
☆ 汚物は一般ゴミと分け屋外に集積
○ 張り紙掲示による周知

仮設トイレ到着



- ☆ ペーパーは便槽に投棄せずゴミ袋を用意し捨てる
- ☆ ピラミッド状に積みあがるし尿は棒などで平坦にして使用を続ける

地震後の上水道の異常



【水の使用判断例】 ◎:最適な使い方 ○:使用可 ×:使用に不適

水	飲料用	手洗い用	風呂用 洗濯用	トイレ用
	調理用 歯磨き用	洗顔用 食器洗い用		
飲料用(ペットボトル)	◎	○	×	×
避難所の受水槽				
非常用飲料水貯水槽	◎	◎	○	○
給水車の水				
浄水器の水	○	◎	○	○
プールの水				
河川や溜池の水	×	×	×	◎

兵庫県企画県民部災害対策局災害対策課作成『避難所等におけるトイレ対策の手引き』より引用

地震後の遊具臨時安全点検表

点検日(平成 年 月 日) 点検者()

校長	教頭	安全担当

共通点検事項	施設名	鉄棒	滑り台	ブランコ	ジャングルジム	雲てい	登り棒	シーソー	総合ジム
① 各部	身体に触れる部分に鋭利な状態等はないか								
② 落下防止	落下防止柵などにガタツキや変形はないか								
③ 支柱部	部材に亀裂、劣化はないか								
	ぐらつきはないか								
④ 基礎部	設置面へ基礎が露出してないか								
⑤ 着地面・周辺	着地面や遊具周辺に大きな凸凹や石などはないか								
⑥ 接合部	ボルトの緩みや欠落はないか								
	継手金具の破損はないか								
⑦ 塗装・メッキ	著しい塗装剥離や退色、錆の発生等はないか								
⑧ 汚れ・異物	著しい汚れや落書き、異物等はないか								

※チェック欄には、異常がなければレ印を、異常があれば×印を記入し、備考欄に詳しい状況を記入する。

備考欄	
-----	--

外部支援者（緊急S C等）のための学校紹介シート

〇〇学校

災害後の学校の状況を簡単に書き込みます。

全校生徒 (2 5 5) 人	クラス数 (9) 学級 特別支援学級 知的 (1) 学級 情緒 (1) 学級 肢体不自由 (1) 学級	職員数 (3 2) 人
----------------------------	--	-------------------------

学校・地域の様子

- 本校の体育館に避難所が開設された。避難所生活を経験した数は半数程度で、現在は自宅や仮設住宅やみなし仮設で生活している。
- 現在、仮設住宅から登校している生徒は約30人。
町外に転校した生徒は3人。長期避難地区の生徒のため、寄宿舎が開設。
- 職員の疲れが見えてきた。
- 有名人や芸能人の訪問が多く、表面上は元気であるように見える。
- もともと登校を渋っている生徒が3名いたが、災害後は登校できずにいる。
- 心のチェックシートで気になっている生徒は10人いる。被害の大きさに関わらない。

留意していること

- 現在、避難所で生活（ 0 ）人
- 現在、仮設住宅で生活（ 4 5 ）人
- 以前、車中泊を経験（ 1 0 4 ）人
- 災害により家族と離れて生活している生徒が5名いる。忘れ物等があった場合、職員は指導の際は気をつけている。
- 親類（叔父、叔母）を亡くしている生徒がいる。会話の中で「死」等を連想させることは避けている。
- 生活環境や自宅が変わったために、保健室にて本来は行わない継続的な処置（湿布の張り替え、絆創膏の張り替えなど）をすることがある。

保健室から

- 健康診断や、準備などがありますので打ち合わせの時間がとれないことが多いと思います。
- カウンセリングルーム、相談室といった場所が確保できませんので、その時に開いている部屋や教室を使わせていただくことになります。
- カウンセリング個別票への記入をお願いします。